



### 感謝の言葉

中医薬膳師コース第2期卒業生

大村和子

只今、中国薬膳研究会会長、周文泉先生より国際薬膳師の資格証書を戴きまして感激で胸がいっぱいでございます。

日本は古くより貴国、中国から沢山の事を学び、影響を受けて参りました。私は仕事で食に関わるようになって「医食同源」という言葉に魅かれて、薬膳の勉強をはじめました。中国4000年の歴史の中で育まれてきた中医薬膳栄養学は思っていた以上に奥の深いものでした。

中医基礎学から内科学、診断学、營養学、食材や中薬学、方剤学、薬膳学、そして弁証施膳と学び進む程に難しく、頭をかかえてしまうこともありました。

特に国際薬膳師の資格試験を受けることになりましてからの2ヶ月あまりは不安とあせりで大変でした。

しかし、そんな折、劉先生始め諸先生方の熱心なご指導をいただき、若い頃の受験勉強を思い出して乍ら頑張ることが出来ました。一生懸命勉強して理解が深まり、これ迄より更に興味がもてるようになりましたし、又、これからもっともっと学ばなければならぬことがいっぱいあることも知りました。

資格証書を手にして、今一度、初心に帰って始めようと熱い思いがこみ上げて居ります。そして薬膳を通して微力ではございますが、中日友好親善のお役に立ちたいと思います。

この度、日本において資格試験を実施して下さい、本日、北京の頤和園という素晴らしい会場で授与式をして下さいました中国薬膳研究会会長周文泉先生をはじめ諸先生方、そして私達をここまで御指導下さいました劉海洋先生と本草薬膳学院の先生方に心から感謝申し上げます。本当に有難うございました。



### 北京研修旅行に参加して

中医薬膳師コース4期生 高島蓉子



6月25日～29日の4泊5日の日程で北京研修旅行に参加しました。反日デモ騒動、連日40度前後の異常気象等の事前情報があり少なからず心配を抱えての出発でした。

しかし、北京の街は至極平和で、皆さん大変親切で友好的でした。気温も前半多少雨が降り、しのぎ易く、後半30度を超す日はありましたが天候にも恵まれ、快適なそして実りある研修旅行を無事終える事が出来ました。

初日、今回の研修旅行最大のイベント「国際薬膳師(士)資格証書授与式」、「国際薬膳貢献奨励表彰式」、そして「中日薬膳学術シンポジウム」が世界文化遺産である頤和園会場にて厳かにしかし熱意のこもった雰囲気の中で執り行われました。中国薬膳研究会会長周文泉教授からは熱意ある暖かいお祝いのお言葉を賜りました。我が院長劉海洋先生からは日本本草薬膳学院の設立の経緯、教育内容の説明、将来の抱負など伺い、劉先生の尽きぬ意欲と向上心に心打たれるものを感じました。

資格証書を授与された方々からは、長年に亘る猛勉強の賜物であり、その喜びがひしひしと感じられました。薬膳を始めたばかりの駆け出しの私には、皆様の自信に溢れたお顔は崇高に気高く、そしてこれからの道のりの長さを思い知らされ身の引き締まる思いがしました。

シンポジウムでは沙鳳桐教授から「中医眼科養生食補」について、本学院顧問鷺見美智子先生からの日本料理の薬膳的考察「五目寿司」については、「夏の食材に従来使用しない緑豆や中薬の使用に違和感無く伝統的な日本料理に中医学理論を取り入れることは有意義である」との興味ある発表がありました。又、薬膳健康づくり会会長上野多恵子先生からは「21世紀の薬膳を考える」と題して「いのちと食」、「栄養学と中医營養学をあわせて食生活を考える」、「糖尿病の為の薬膳」の発表を頂きました。中国薬膳研究会副会長高晋教授の「養生食補薬膳は心血管病に於ける応用」に関する発表は、我々がこれから学ばなくてはならない重要課題で大変参考になりました。日本国際薬膳師会常任理事大井上先生からは「老化に伴い認知症の増加を憂う」と題しアルツハイマー病の弁証、これに対する施膳など大変参考になる発表を頂きました。日中高名な先生方から多彩な研究発表を頂き帰国後の再学習課題に押し潰される思いがしました。

研修旅行での食事は到着日夕食の広東料理から始まり頤和園での聴鸞館宮廷御膳、北京植物園薬植所での中華御苑薬膳、労働人民文化宮での宮廷素膳、有名な魯菜(山東)ダック、紹興料理、老北京料理等々、どの食事をとって20種類以上もある超豪華・多様な料理で参加者全員大々満足でした。

頤和園、故宮博物院、天安門、天壇公園、万里の長城等、世界文化遺産の観光ではその壮大さに心打たれ、又連日2万歩を越す強行軍をこなされた大井上先生、上野先生の健脚・健康振りに下を巻き薬膳成果を垣間見る思いがいたしました。

今回の研修旅行に参加し奥深い中医学薬膳に接し、これからの長い長い道のりを思い知らされました。がんばります。

### 南京会議通知

南京自然医学会主催の「2005年 飲食興健康国際学術論壇会議」が開催されます。本草薬膳学院は共催としてこの会議に参加しています。

その他の共催団体: 国家中医薬管理局台港澳交流合作中心南京事務所、南京農学会、南京予防医学会、澳大利ヤ全国中医薬針灸学会、台湾中国薬用植物学会、台湾中国固有民間療法促進会、香港現代中医進学院、南京新協和医院。

開催日は2005年10月27日、学院長劉海洋、副学院長勝本海詠が出席を予定しています。

参加されたい方は本草薬膳学院まで、ご連絡下さい。

